

2019 年度文系チャレンジ講座（第7回）を実施しました

1月15日（水）に教育学部の松田聡先生を講師に迎え、「音楽史を学ぶことについて：ビートルズを例に」というテーマで、文系チャレンジ講座の第7回を実施しました。遠隔配信した大分西、国東、安心院、別府翔青、大分雄城台、大分鶴崎、日田、臼杵、竹田の10校270名が受講しました。

まず、「音楽史」とはどのような学問で、それを学ぶことにはどのような意味があるのか、といったことについて、

ビートルズを例におこなうと説明されました。「ビートルズの音楽は、現在も多くの人々に親しま



れていますが、音楽史の対象として学ぶことにより、より深く、あるいは広く楽しむことができるようになるはずです。この講義を通じて、何かを「学ぶ」ことの大切さと面白さの一端に触れていただきたい」と問題提起されました。

次に、ビートルズのメンバーの紹介と歴史について説明されました。また、「ヘルプ」の

ビートルズとは

<1965年までの簡単な経歴>

1962年10月、〈ラヴ・ミー・ドゥー〉でレコード・デビュー

1963年2月、〈プリーズ・プリーズ・ミー〉が全英1位に

1964年2月、〈抱きしめたい〉が全米1位に
「エド・サリヴァン・ショー」出演（視聴率72%）

1965年9月、〈ヘルプ！〉が8曲目の全米1位に

歌詞を用いて、彼らの心情や時代背景の説明をされました。

授業のまとめとして、

- ・1962年～1970年の8年間でスタジオでのコンサートやPV制作などを行っており、現在のアイドルグループの活動と比べるとどうだろうか
- ・〈ヘルプ〉は彼らの活動を象徴する楽曲であり、そのことを知った上で聴くときどのように感じ方がことなるだろうか

以上のような問いかけを行い、問いを発するのが音楽史という学問であり、学問とは何なのかという投げかけをして、生徒に考えさせる内容でした。

その後のビートルズ

1966年

6月30日～7月2日、日本公演

8月29日、サンフランシスコで最後のコンサート

→以降は、スタジオでの制作のみ。1967年のシングル〈ストロベリーフィールズ・フォー・エヴァー／ペニー・レイン〉（2月）と、アルバム《サージェント・ペパーズ・ロンリー・ハーツ・クラブ・バンド》（6月）が、その最初の作品。

1970年

4月10日、ポールの脱退宣言（実質的な解散）



講義後のアンケート調査では、「総合的に判断して授業がよかった」（95%「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計。以下同じ）、「教員は真剣に取り組んでいた」（100%）、「受講生は授業に意欲的に取り組んでいた」（99%）という結果でした。遠隔配信については、「音声はよく聞こえた」（93%）、「映像はよく見えた」（89%）という結果が出ました。